

～患者様ご自身の血液成分を用いた治療～
 (Platelet-Rich Plasma (PRP) の投与による治療)

PRP とは？

血液の中には、傷を治す働きを持つ「血小板」という成分があります。この血小板を高濃度に凝縮し活性化させたものが、PRP：Platelet-Rich Plasma（多血小板血漿）です。PRPにはたくさんの成長因子が含まれていて、細胞の成長を促進する力があります。当院で使用するPRPは高濃度の白血球を含むL-PRP(Leucocyte-PRP)です。この力が、人の本来持っている治癒能力や組織修復能力・再生能力を最大限に引き出し、傷んだ関節軟骨・靭帯などの治癒をうながすと考えられています。

PRP 治療について

患者様ご自身の血液から作製したPRPを患部に注射する治療です。

PRP作製は医療機器として治療に使用すること（安全性）が厚生労働省より認められた医療機器を使用します。患者様ご自身の血液を用いるため、免疫反応の起きる可能性は極めて低いと考えられます。

また、採血と注射のみで終わるため、患者様の体への負担も少なく済みます。

治療効果や効果の持続期間には個人差があります。

治療の流れ

治療は日帰りで終わります。原則として麻酔は必要ありません。



- ① 患者様の血液を約26mL～52mL取ります。



- ② 血液を遠心分離機にかけ、PRPを作製します。



- ③ PRPを患部に注射します。

※治療当日は飲酒や入浴をお控えください。